

<プレスリリース>

国際ガラス年 2022 が国連で採択されました



1959年以降、国連(United Nations)はある特定分野の活動について、その国際社会への貢献を周知、促進するため「International Year」を宣言しています。このたび、2022年を「国際ガラス年」として宣言することが、2021年5月18日に開かれた国連総会(General Assembly of United Nations)で採択されました。

国際ガラス年の構想は2018年に横浜で開かれた国際ガラス会議で打ち出された後、その実現に向け多くの人々が努力を積み重ねてきました。世界79か国からInternational Commission on Glass(ICG)に集まった1500通を超える賛同書をもとに様々な活動が行われ、今回の国連での採択に至ったものです。国内においては日本セラミックス協会内に国際ガラス年実行委員会を組織し、ガラス産業連合会、ニューガラスフォーラムとともにその活動に参加してきました。

身近な工業製品から最先端の科学を支える材料、あるいは造形・美術の領域に至るまで、現代社会においてガラスは実に幅広い場面で活躍しています。2022年には国際ガラス年を記念した各種イベントが国内はもとより、世界各国で行われることが予定されています。日本セラミックス協会では準備期間も含め、その情報発信に努めて参ります。

公益社団法人日本セラミックス協会
国際ガラス年実行委員会委員長
田部 勢津久
<http://iyog2022.jp>

本件に関する問い合わせ先：koho@iyog2022.jp